



平成30年 3月28日

各 位

会 社 名 アストマックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 本多 弘明
(JASDAQ スタンダード・コード 7162)
問合せ先 常務取締役 小幡 健太郎
電話 03-5447-8400

連結子会社における固定資産の減損損失に伴う特別損失計上に関するお知らせ

当社の連結子会社は、平成30年3月期において固定資産の減損損失に伴う特別損失を計上することとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 固定資産の減損損失の内容と理由

当社グループの一事業である再生可能エネルギー関連事業では、当社の連結子会社であるアストマックス・トレーディング株式会社（以下、「ASTRA社」という。）が主体となり、太陽光発電事業に加え、ベースロード電源である地熱を利用した地熱発電事業を推進しており、現在国内2箇所において事業化に向けた取り組みを行っております。

そのうちの1箇所である大分県日田市の100キロワットの小規模なバイナリー（温泉）発電の事業化については、当連結会計年度中に掘削を完了しましたが、温泉井の掘削結果から想定した蒸気や熱水が得られず、関係者と慎重に検討した結果、以後の開発を断念することいたしました。その結果、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、平成30年3月期決算において、減損損失を計上することいたしました。本件に係る減損損失の金額は39百万円であります。

2. 今後の見通し

当連結会計年度（平成30年3月期）の連結業績に与える影響については、上述のとおり39百万円の特別損失を計上する見込みです。今後精査の上、公表すべき事項が生じた場合には、速やかに開示いたします。

なお、地熱発電事業のもう一つの案件（宮崎県八重野地域）は、平成30年2月6日に開示したとおり、調査井（1号井）の仮噴気試験の結果、自噴したことを確認しております。また、来年度に調査井（2号井）の仮噴気試験を実施する予定に変更はありません。

再生可能エネルギー関連事業での各案件の進捗状況等につきましては、引き続き決算短信及び四半期決算短信等でご報告いたします。また、金額的に重要な案件の進捗状況等につきましては、適時に開示をして参ります。

以上